

学力向上に効果のある取組事例

別府市立山の手小学校

②思考力、判断力、表現力等の育成

取組の具体①

○言語能力・表現力を育む「かく活動」の実践

- ・令和5年より、朝の時間を活用して2年生以上の学年で「かく活動」に取り組んでいる。国語と算数で課題に沿って自分の考えを書き、翌週に友だち同士で条件に合っているか見合ったり感想をもらったりすることでより質の高いものにしていう意識が高まっている。

○本時の目標達成に向けた

目的のある話し合い活動

- ・授業の目標達成のため、子どもたち一人ひとりが対話の目的や必要感をもって学びに関わることができる授業づくりをめざしている。活動の前に教師が目的を確認し、その後子どもたちは課題解決に向けて、ペア・グループ・全体学習に取り組んでいる。

「かく活動」の掲示



目的のある話し合い活動



こうしたら、平行四辺形が
かけるんじゃないかな。

取組の具体②

○「思考力・判断力・表現力」を育む授業研究

- ・研究主題を「みんなで考え、学び合う授業づくり」とし、今年度は特に算数科を取り上げて、学年部で单元ごとに話し合った具体的な取組を授業で実践している。授業研究の際にも、指導案に「対話の目的やグループのつくり方」などを明記したり、事後研において「思考力・判断力・表現力の育成」につながったかや、自身の授業にどう活かすかを検討したりすることで、研修と授業の一体化を図っている。

グループの
発表 共有
の内容



グループでの活
発な討議で仮説
検証を行う事後研